

第1回施設整備部会 議事録

(1)日 時：令和5年6月29日（木）午後7時より、（教育会館 第5研修室）

(2)参加者：委員（10名）、事務局7名

(3)内 容

①部会長あいさつ

②資料説明及び意見交換

・新中学校校舎・特別教棟について

・備品等調査の内容と方向性（案）について

《部会長あいさつ》（省略）

《資料説明及び意見交換》

（新中学校校舎・特別教棟について）

事務局 ①勝山市立中学校建設基本計画抜粋を基に説明

- ・24～27 ページ：新中学校校舎の必要諸室・配慮事項・面積規模等
- ・28～30 ページ：図書室（メディアセンター）の検討（例）、多目的室の検討（例）
- ・31～35 ページ：配置計画ゾーニング検討
- ・36～42 ページ：新中学校校舎平面計画（案）
- ・43 ページ：地下通路計画

②資料1：新中学校校舎・特別教棟への意見抜粋を説明

- ・新中学校校舎への要望
- ・特別教棟への要望

部会長 ・昨年施設整備部会で7つの案を出していただきながら皆さんで協議していただいた。それが○とか△とかこのような結果になった。特別教室棟はみんな意見を出し合ってどういうふうにしたらいいのか、オープンスペースがあったほうがいいのかといろいろな可能性を探していったという形になる。説明を受けて何か質問とか今後のことで何か聞いてみたいことがあれば伺いたい。

委員1 ・理科室と技術室と準備室との関わりが教科の先生の意見を聞いた方がいいのではないか。

事務局 ・専門の先生からも意見をいただいている。技術科は技術科の考えがあるのでまた相談させていただく。

委員2 初めて聞くのであまり分かっていないのだが中学校の入り口はジオアリーナから抜けてきた時にぬれずに校舎に入れるのか。

事務局 ・今のところ基本計画にもそういった屋根をかけるような形でスムーズに学校の玄関には行けるような形で考えている。

委員3 ・校舎に這わせるみたいなものか。

事務局 ・校舎に屋根をかけたりするような形になると思われる。

委員4 ・既設の昇降口の場合と昇降口を改修した場合という説明があったと思うが、どういう違いがあるのか。

事務局 ・昇降口をそのままとした場合は、面積的に少し制限されることがあり、昇降口を建て替えると昇降口とその上にも施設が配置できるということでさらに豊かな空間ができるのではないかとということ。もちろんこれは県の学校な

	<p>のでそちらの了解もとらないといけませんが、改修した場合にはその上に部屋の配置ができるのではないかとということで検討をさせていただきました。</p>
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> ・多分検討はされていると思うがかなりの大雪が降ったりする季節的なことがあるときとか季節要因で熱中症があって救急車が入っていくということは検討の中には入っていると思えばいいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・克雪の対策とか保健室がグラウンドに近いとか救急車が入りやすいような形も設計の中では検討していく。プロポーザルの中にもそのような提案の課題ではあってそれに対して業者も提案を出してきているのでそれに対してもしっかりと対応できるようにやっていきたい。
委員 6	<ul style="list-style-type: none"> ・昇降口を改修するとなると昇降口の設定位置が今の駐車場の地点まで少し前に来るのではないかと。現在、保護者の方々が停めている車の場所は先生方の駐車場になるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・設計ができてくる中で玄関前を駐車場として活用していいかという話も議論になってくる。その辺りはまた協議しながら駐車スペースにするのか駐車しないという形にするのかを決めていきたい。
委員 7	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が登校する時に車が入ってきて動線がかさなったりする。42 ページのG案だが多目的室の入口側の方でずっと線をのばしていくと昇降口の入口より少し前に出ているような気もする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・あくまでもこれはイメージなので、本当はそのまま同じ面で建ち上がると思われる。
委員 8	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が全部見れていないが特別教室は教科の先生の要望を聞いてもらうといい。エレベーターは人が乗れるエレベーターなのか。車椅子も大丈夫か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・人が乗れるエレベーターで車椅子も対応が可能である。
委員 9	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fiなどは全館完備みたいなイメージを想定をされているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・情報網についても今はLTEだがWi-Fiもそういった機器に接続できるようなことも検討していきたい。
委員 10	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎の隅々か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・隅々全部ができるかどうかはわからないが、そういった需要があるようならば検討したい
委員 11	<ul style="list-style-type: none"> ・今学校はWi-Fi じゃなくてもいい。学校が全部タブレットが使えるようになっている。
委員 12	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室を見てなんか素敵だなと思う。図書室も昔は読書センターの要素が強かったが、これからの図書室は学習のセンターでもあって情報を集めるセンターでもある。読書センター、学習センター、情報センター3つの要素を持ったメディアセンターという名前も格好いいなと思う。そういった機能を兼ね備えているのがこれからの図書室と言われているのでそういった意味でもデザイン的に全部網羅されているなというふうにワクワクする。ワクワクという意味でこんなものもあつたらいいなと思うのは屋根付きの土間の広いスペース、外履きをはいていても屋根があつて土間打ちかなんかで子ども達がそこで一クラスくらいは活動できたり集まれたりするようなスペースがあるのか。玄関のところ広いスペースがあるといい。そういったものがあるのか。計画では屋根付きドアのスペースとか玄関ホールスペースとかはどうか。

- 事務局 ・おそらく屋根付き広場というようなイメージか、そこで下足のまま使えるような形だと思う。今の段階では屋根付き広場的なものがあるという形ではないが、ご提案いただいたのでそういったことも検討の材料とさせていただきたいと思う。また、玄関昇降口からの動線については例えばメディアセンターが図書館の学校の中心にあるとかいうような子ども達が図書と親しむということも含めてそういった空間とかメディアセンターも含めて様々な検討をしていきたいと思っている。もちろん展示とかそういったことも活用できるような大空間とはいかないかもしれないがフレキシブルに使えるような空間も検討していきたいと思う。
- 委員 13 ・今後の設計図を作る過程でそういうのが確保できたらぜひ作っていただけるととても使い勝手がいい、日々の学習活動の中でとても子ども達が学習しやすい、生活しやすいと思うので検討をお願いしたい。
- 部会長 ・第1回なので皆さんも必ず1回は話していただきたいなという気もする。他にも何か意見や少し質問したいなというところがあれば聞いていただきたい。一応予定としてはこれが終わったら次に備品の方に入って、それが終わった後に3中学校の歴史の残し方について皆さんの意見を伺いたいと思っている。
- 事務局 ・補足をお願いしたい。いろいろとご意見をいただき感謝。中学校の学校の設計図はまだ何にもない。今から作るので説明の中でA案とかB案というのは、昨年どういう学校を作るといいかを考えるために作ったものである。どうしてもそういうものを見てしまうとこういうのができるんだと思ってしまいがそうではない。設計業者は明日公表で決まるがプロポーザルのときに各設計業者がいろいろこういう学校というのを提案してきているので、その絵はあるのだがそれも別にその業者に決まったからといって元にはなるが提案してきたものを作るわけでもない。だから部会の皆様には今から設計するにあたってこういう空間を作るといいとかここはこうするといいとかこんな機能があるといいとかということもいろいろと出していただけると今から作る基本設計にそれを入れられるのでそういったご意見をいただきたいということになる。合わせて、業者のワークショップをして子どもとかいろいろな方の意見を吸い上げていくということもしてくださると思うし、我々自身もこれからいろいろ説明会とかの中で先生方とか中学生とかそういった意見を聞いたりとかそれを全部を合わせて基本設計に盛り込んでいくスタンスでいる。A案とかB案とかにはあまり縛られないとか誤解のないようにお考えいただきたい。そうであれば、ぜひ新しい中学校はこうしてほしいといろいろな機会に言っていただけるとありがたい。
- 部会長 ・次の部会の時にはおそらく設計業者から平面図で結構詳細なものが出てくると思う。その時にこうした方がいいという意見を言っていただく。次回の時にはいろいろお考えいただければいいかなということをお願いしたい。
では、次に備品等調査について説明をお願いしたい。
- (備品等調査の内容と方向性(案)について)
- 事務局 資料2：備品等調査の内容と方向性(案)を説明
- ・備品内容
 - ・調査の方向

部会長 委員 1	<ul style="list-style-type: none"> ・備品調査項目一覧量（案） ・今の説明を聞いて何か質問等あるか。 ・教頭先生や教務の先生は中学校で一番忙しいので夏休みに調べるのは難しい。紅白幕は新中学校に持っていく必要があるのか。紫幕も校章が入っているから使えない。必要なものをある程度リストアップしてもらえないか。例えば冷蔵庫で8台あるからどれを持っていこうというよりも冷蔵庫は5台欲しいとか。そうでないと結局一生懸命数えたけど無駄な努力で終わったということのをさせたくない。こんな大変な時にそれも夏とかエアコンのない部屋がいっぱいあって、そこに入ってほこりまみれのものもあって一体何があるのかと数えてもらって、蓋を開けてみたらリストを一生懸命作ったけれど全部廃棄になった。だから何でもかんでも調べるといのは自分たちも手伝わなくてはいけないと思うが絶対足りない。備品とか管理できるものはある程度新中学校で使うだろうが新中学校でまず使う目途がないもの、例えば卒業アルバムは本当に3中学校から全部持って行って入るのか。せっかく数えても入るとこもないものを数えてどうするのか、トロフィーとか部活の数も減っている。例えば今の校長室にソフトボールの優勝カップがある。事務局に返さなくてはいけないかもしれないが過去のいろいろなトロフィーも本当に持っていく必要があるのか。だからある程度教材備品とか庁用備品とかパイプ椅子とかは出す必要があると思う。期を要しないものは北中も南中も中部もすぐ壊すのではないだろうから多分持っていってもこれが足りないからどこかの中学校に取りに行くというようなことも起きてくると思う。校舎を一年間で全部きれいにしてしなくてはいけないのなら一年間でしなくてはいけないが最低限にしてほしい。データが入っているものはすぐ出る。
部会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・備品管理のある程度の価格以上のものはデータベース化されているのか。 ・備品台帳はあるので必ず毎年備品のチェックはしている。それを今年は少し丁寧にやっていただきたいという思いがある。
部会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・備品台帳でも、毎年のもが入っているのか。 ・新しく購入したら台帳に入っているし廃棄されたものはなくなっている。西
部会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それでダメなのか。 ・それももちろんやっていただきたい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・備品台帳というデータがあるのでそれを見ながらこれは持っていこう、これは持っていかないでおこうと、例えば持っていくものだけセルに黄色でぬるとか。そういうチェックだけでだめなのか。備品台帳にないものは廃棄するとしてしまう。
委員 2	<ul style="list-style-type: none"> ・今話してるのはとにかく不明品は全部不明であげよう。それだけはしなくてはいけない。台帳にあがっているけど、どこにあるかわからないものは全部不明で仕方がないので全部あげておく。確実にあるものはこれだけでこれについては不明でないんですということだけは毎年やることなので見つからなかったときは正直に、そこはしなくてはいけないと言っている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それをしていただけるとありがたい。とにかく令和8年までにはしなければいけない。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、今ここにある建物の中のをすべて調べるのではなくて今リスト化されているものだけを対象にすることはできるか。

- 事務局
部会長
事務局
- ・できるが、いずれは残っているものもどうしようとなる。
 - ・たぶん半分以上は処分になる。持っていけないのでリストを作る。
 - ・備品台帳というのはうちのシステムに入れていくのだが、例えば電卓が備品だとすると電卓を10個買うと一式で入れてしまうことがある。10個のうち2個なくなってもまだ10個残っている状態にデータ上なっているとこもある。それがうちのデータだけで見えていくのは難しい。市の予算で買ったものについて1万円以上は登録しているが今ここにあるようにPTAからいただいたもの、寄贈したりいただいたもの、卒業していただいたものが実際データに入っているかどうかというのは非常に曖昧なところもある。その辺りを整理しなくてはいけないと思っている。
- 部会長
- ・聞き方を変えるとPTAからもらったものを新しい学校に持っていくのか、持っていかないなら管理する必要がない。確かに先生方の業務もすごく負担なのでそこをいかに減らすことができるかと思う。例えば、外注して誰かを雇ってその人に調べてもらうこともあり得ると思う。リスト化をするのは何のためにやられるのか。持っていくものを検討するためにやる。全部積み上げ式でやるというよりはある程度例えば今中学校とヒアリングをしてどういふものを新しい学校に持ってきたかと聞いてそれをまず最優先でリストアップしてもらおう。次にそれ以外に勝山市としてこれは持っていかないといけないだろうというのを二番目としてリストアップしてもらおうとか、それ以外は捨ててしまうというような順位づけがいいのではないかと思う。結構大学で前の先生方が残していかれたものがあって大変だった。確かにこれを機に全部把握したいというのは分かる。ほぼほぼ捨てるものなのでできるだけ負担を減らすような方法は考えられないか。
- 事務局
- ・先生方の調べる労力も本当に大変になってくるのでより簡単な方法があれば一番ありがたい。
- 部会長
- ・例えば写真だけ撮っておくというのはどうか。倉庫の写真を全面撮ってこんな形であると示す。
- 委員3
- ・台帳にないものでそんなに重要なものはあるのか。校長室の絵が重要かどうかはわからないが残してある。新しい校舎に古い校舎の絵を校長室に持っていかなくてはいけないのか、校長室にあるものの数を数えるが…。
- 事務局
- ・数まではいいがどんなものがあるか把握したいと思った。
- 委員4
- ・倉庫の中にも入ってこんなものがあると調べなくてはいけないものが学校にはある。図書準備室の中にもそれこそ処分しきれないような本などがたくさんあるので、それがどのようになっているかを調べると本当にそれは大変になる。
- 事務局
- ・何が何冊で、こんなところに入っていると細かくなると本当に大変なことなので備品台帳はしっかりしていただきたいがあとはもっと違う形がいいのかもしれない。
- 部会長
- ・まず、やはり今年としては何を持っていくのかをあげないといけないのではないか。
- 事務局
- ・事務局としての思いはまず把握したいというところでその把握の仕方が徹底してやろうとするとこういう形になる。当然把握したとしてもすべてを新中学校に持ってくるわけではない。それから台帳に載っているものというのは

事務の方が毎年やっているのチェックはしていると思うし、ある程度出来上がってるところだと思う。廃棄したのに台帳から外していないということはあるかもしれないが、それよりも台帳に載っていないものが学校にあってそれをどうするの、それは基本持っていかないだろうというのも当然わかる話ではある。ただ持っていかないときに廃棄をしていく作業も必要になって廃棄するためには市で予算を持って廃棄することになるがどのくらいの予算を持たないといけないのか、またどんなものがどのくらいあるからどのくらい欲しいという予算要求になるとある程度ボリュームが知りたいということもある。そういうことを背景にこういう提案ができないかということをお話させていただいた。確かに非常にお忙しい先生方に協力してもらおうということも大変だということはわかるのでやり方やご意見を引き取らせてもらってまた事務局で考えさせていただいた上で校長会とかで図りながら進めていくことにさせていただきたいと思う。この部会の皆様方たちにこういう作業をお願いするわけではないので今日は部会の皆さんにはこういうこともやっていかなくてはいけないということをお話させていただくことでこの場はいいと思うのでそういう形でよろしければこちらで引き取らせていただく。

部会長 ・それでよろしいか。

委員5 ・積極的に今年はやらなくてもいいことと逆の話になるが、台帳の精度を上げていないものを積極的に捨てようとお話している。おそらく捨てられるのに捨てきれなかったものがたくさん学校にある。そこに学校内だが重点項目にしている。それをきちんとして台帳の精度があがれば仕事がしやすくなると思う。

委員6 ・どちらかという廃棄してあるはずなのに残っているものが多い。30年前のものが勝中の名前が入ったものがあるとかそういう捨てることができるものは捨てようという話をうちでもしている。廃棄にするのだがもったいないから取っておいたと思うがそれで使ってないという古いものがある。

部会長 ・例えば一回今年は大掃除してそこから整理するというのはどうか。その間に事務局でいろいろと検討していただく。そうすると物が減っているということはある。

事務局 ・必ず今年度中にこれをしなくてはいけないということではないがそれはその後の作業とか考えたうえで相談させていただきたいと思う。そういう作業をしていったときに最終的に捨てるか判断に迷うものが出てくると思う。それが先ほどもあったが例えば体育館に飾ってある校訓の額とか、校歌とかあるいは美術品のたぐいとか、その学校の歴史とか伝統に関わるようなもので残っているものがある。そういうものの取り扱いは別途3中学校を思い出しに残していくということで新しい中学校に何らかの形で移すということもあるし現物をそのまま持っていけるかどうかということもあるがそのところはできれば皆様のご意見もお聞きしたいと思っている。

部会長 ・そういう粗大ゴミの回収は大学だと年に2回ある。

委員6 ・教材備品を廃棄するのはお願いしてビュークリーンへ施設員さんに運んでもらう。大きいものは各学校が随時廃棄する。

事務局 ・お金のかかるもので予算の中からはとなると話をさせていただかないととど

	夏休みに捨ててこれだけお金かかりますとなっても予算はない。
委員 7	・基本的には薬品の処分には当然お金がかかる。それは別途になっている。
事務局	・そういった面もあるのでごみセンターに出せばいいものと出せないものとかそういう区別もしながら少しずつ進めていくことは大事だと思う。
事務局	・今年どんなことができるかを検討してできるだけ負担がかからないようにいきたいと思う。本当に学校の中にはたくさんものがあると思う。
事務局	・学校の中のことはまた校長先生と話をさせていただくこととして最初に司会の中でおっしゃった思い出ルームとかどうしていったらいいかを聞いていただくとどうか。
部会長	・3つの中学校の歴史をどのように残していかないといけないのか、残していくのか、例えばメモリアルホールを作ってここに3中学校の思い出を入れるとか、自分が絡んだ小中学校では3つの学校のグラウンドの土を取ってきて土壁を作って一緒にワークショップをして飾ってある。よくあるのは3つの中学校の旗を玄関前に飾ってあったりする。いろんな形があると思うがどういう歴史、これを残していきたいなとかこういう場所を作りたいなとかそういう思いを一人一言ぜひご発言いただきたいと思う。
委員 1	・最後の1年間くらいで5分か10分ぐらいの中学校の歴史の動画みたいなものを作って新しいメディアセンターの中で定期的に流すとどうか。
委員 2	・思い付きでもよろしいか。例えば新中学校のところに新しい展示空間を作ってそこに当時のものを展示しておく。どういうものを残していくかということは事務局の判断になると思う。
委員 3	・体育館にある校歌の額などは多目的ホールができるのならそこへ3つ並べるとか、廊下の壁とか階段の踊り場の上とかにいろいろなスペースがあるので校旗を飾るとかあげたらきりが無いと思うが例えば校歌の額とか校旗とか本当にシンボリックなものをいくつか意図的に空いた場所に部屋を作るというのもなかなか難しいと思うので飾るとするのが一番いい。多目的ホールが吹き抜けになるかどうなるのか分からないが壁とかに工夫すれば余裕があるのではないかな。
委員 4	・新校舎にメモリアル的なものを残すという発想は全くなかった。ただ例えば民間の会社が会社の歴史のものなどを格好よく展示してあるというものは見たことがある。3中学校の歴史を格好よくディスプレイするというのもあるかなと思う。わざわざそのために空間を作るという発想はなかった。
委員 5	・昔の中学校の思い出をたどりにいらっしゃるお年寄りが結構いた。こんなものは残っていないかこんなものを見せてほしいという。今学校の歴史をたくさん調べてまとめてくださっている中で勝山市の貴重なものがあると思うが失ったものはもう二度と帰らないと思う。メモリアルの部屋を新中学校に作らなくてもいいと思う。もし市役所や教育会館にそういうところがあるのなら紙類でも何でも残しておくとか後世に伝えたい、校舎の写真だとか南中が作られたところの作業している生徒の写真であるとかそういうものはどこかに残してほしい。失って捨てててしまったら戻ってこない。捨ててしまったもので貴重なものがいっぱいあったのではないかなと思う。その方面の人間なので残しておきたいなと思ってはいる。残し方については古いものを新校舎に置かなくていいと思う。ただ、失ってほしくないものは確かにたくさん

ある。平泉寺中時代のものも南中には残っている。勝中の校章も残っている。そういうものは無くしたくないと思う。

委員 6 ・ 高校が歴史を残すのにはやはり何年誌とかを残すことが今までだったら多い。物自体はなかなか取っておけないので写真で残すとすると昔の発想でいえば冊子にしておくということが多いかなと思う。ただ、動画で撮るという方法も今はあると思った。勝山高校でいえば夜間定時制がなくなった時には記念碑を立ててあったという印を今でも残している。

委員 7 ・ 中学校の時も確かにトロフィーはたくさんあった。それを果たして見たいかといったら全然思わない。逆に中学校時代で同窓会をして懐かしいのは校舎の写真であったり、クラスのその当時の写真であったり、あの当時はまだ石炭、コークスとかストーブの上でパンを焼いたりとかそのような写真とかが懐かしい思い出として残っていることもある。だから今は本当に何を残すかというのはわからなくて、例えば動きとしては VR とかがあるのでそういう世界の中で登録しておくという方法も一つあるだろうしやっぱり実際そこまで行って見に行くかということ例えばメモリアルのところに置いてあったとしてもその当時を思い出せるかということそうではなくてやっぱり校舎自体がないとよみあがってこないと思う。そうしたときにはやっぱり逆に写真とか何年誌というような形で最後に卒業するときに過去の歴史を全部ひもといたような冊子を作ってそういうものを残しておいて卒業生に配布するというのも一つの方法だしそういう形でやっていくのがいいのかなという気がする。実際勝山中学校のものがどこに行ったか分からないだろう。南中にあるが誰も見ない。

委員 8 ・ しまつてあるが校旗もすべてある。

委員 9 ・ 結局、そのような形になってしまうのかなという気もする。

委員 10 ・ 記念誌は負担が大きすぎる。

委員 11 ・ 1 回作るだけである。なくなるときに P T A とか同窓会ができればだがそのような形でいい。実際置いておくところも結構必要でこれは南部中学のもの、これは中部中学のもの北部中学のものとなってくるとなかなか作ったところで見に来る人はいるのかなと思う。やっぱり思い出というのはそういうものではないのではないかな。実際、原風景の写真とかその当時を思い出させてくれるようなものは懐かしいなということでもう一度振り返るといような形で感じるものではないかと思っている。そういうものを残しておく必要性はどうかと思っている。

委員 12 ・ 新中学校に 3 中学校のものを残すかどうかということだと持っていく必要はないのではないかなと思う。逆にスペースを取ってそのスペースの部分が無駄になるのかなと思う。ただ設立当初は 3 中学校から集まるのでその集まった生徒がいる間だけは例えば 2 年間や 3 年間だけそこに旗とかはあると良いと思う。それをずっと歴史のものを残すという意味でスペースを取って置き続けるというのは少しナンセンスかなというふうに思う。いろんな備品が残ってはいると思うが正直これを機に処分されたらどうか。民間的な考え方で言うといつかどこかで処分するのだったらこれを機に綺麗にしたらどうか。民間の会社でやっているのがあるとすれば例えば 3 中学校の校章があるとしたら例えば新校舎の壁に埋め込んでおく。その程度で使っていたものを

- 新しく素材として使うとかそれくらいがあればいいのではないかと思う。どちらかと言うとこれを機に処分することだと思う。
- 委員 13 ・あまりメモリアル的なものは新中学校に必要なとは思っている。ただ全くなくなるというのも寂しい話で小学校 P T A の集まりとかで会議室の中に額縁で歴代の校長先生の写真が載っていてこちらはこの時代の校長先生だったんだと昔話で懐かしく思う時があったりするので校長先生というのは難しい。例えば学校の航空写真があったりとか正門の写真があったりとか会話や昔話ができるようなものが会議室なり応接室にあればいいかなと思う。
- 委員 14 ・全く残す必要はないかなと思っていてこの先捨てた方がいい。思い出は基本的に自分のいなかった時の歴史はあまり興味がない。自分の載ってない写真、誰かわからない写真をあんまり見て感動するかというと自分の子ども達が行く時にそれを見てもこんなことがあったんだと一瞬で終わることもある。これを機に不要なものを処分していただく方がいい。物事をしまうのは結構大変なのでこういう機会があって絶対に次に残って次の人がどうしようかなと悩む。この際きちんと処分するものは処分していただければと思う。
- 委員 15 ・これだけ残しておいてほしいなと思うのは先ほど言ったように昔の写真もだが卒業アルバムがある。ずっと歴代の写真とか絶対残っていると思う。これをある程度までいってから遡って探そうとしても難しく、例えば昔はデジタルデータではない時代は赤ちゃんの写真しかなかったがそういったものもある程度集めてデータベース化しておいて年代別にしておいていただくと例えば大阪とか東京の人が帰ってきた時に昔の写真ないかとか見せてほしいとかいうようなことがある。今から撮るというのではなくて卒業アルバムに利用していたような写真とかそういったようなものを今のうちに整理して集めておいたほうがいいのかという気がする。それだけでもしていただきたいなと思う。
- 委員 16 ・例えば都会から帰省した人が子どもの時に作った版面をみんなが彫ったものを全員で大版面にして体育館の上に張ってある。それを見に来られて見上げながら目に涙をためながらずっと長い間 30 分間見ていらっしゃる。きっとルーツとか思い出というのはしょっちゅう必要はないのだが時々必要になることがある。だから先ほど話が出ているが残すべきものと残さなくてもいいものがあるって確かに残さなくていいものは断捨離精神でこの機会に一気に処分してしまう。ただ残すべきものも必ずあるのでそれが校章なのか校旗なのか卒業アルバムなのかそれは今から検討が必要になる。残すべきものはきちっと残しておくべきでそのスペースが新しい校舎になかなか確保できないのではないかと。そこは無理しないで先ほどおっしゃったように 2 年間だけ卒業するまでは学校の旗を掲示する。とても素敵なアイデアだと思うがでも基本的なそういうスペースは取れないので教育会館とか子ども会館になってしまうが市立図書館の一角であったりとか勝山城のどこかスペースの一角であったりとかどこかにあるはずだ。そういうスペースを確保できそうなところでそこにしっかり保管しておく。何かの拍子で一斉になったときにありますよってその中のルーツをたどれるようにしておいてあげてほしい。

勝中まで遡るかもしれないし北中南ぐらいまでしか遡らないかもしれないがやはり新中学校のルーツはここなんだよ、こういう歴史の上で新しい中学校ができたんだよという大事なものはやはり残してしておくべきだ。先ほどちょっと話変わるが図書蔵書の話があったと思う。例えば伊豆の踊り子がそれぞれ3校に1冊ずつあって一緒になったら3冊になっちゃった。でもたぶん立てるのは1冊でいいはずである。あとの2冊はバックヤードの方に一応しまふ。そういうバックヤードというか小学校でいうと図書準備室というのがそういう倉庫みたいなところはやはり図書室メディアセンターにも必要だし、実は我々の家でもそうだが物置はとても大事で小学校も物置スペースがすごく大事で荒土小には4つほど倉庫があるがそれでもいっぱいいっぱいいろいろな物がびっしり入っていてもっとあるといいと思う。4つもあればいいだろうと思うがなかなか倉庫に入れる物が多い。設計されるときに物置スペースというかバックヤードというかたくさん用意していただけるといいなと思う。

部会長 ・残すべきものは必ずあるということなのでそれをどういう風に残していくか、場所を含めて検討してもらいたいということになる。スペースは設計をやっているときにフレームというがよく足りない足りないと言われる。大体の延べ床面積の10%ぐらいを目安にするのだがそれでも足りないと言われている。できるだけ面積を多くするとかいろいろな見せる仕組み、収納部分を注目していただければいいと思う。そろそろ終了したいと思うがよろしいか。

事務局 ・本日は特に最初はこれまでのことを復習して理解していただくということだった。後半の備品管理についてはまた事務局の方で検討してご提案をしたいと思う。次回は設計業者の提案が決まっている状況になるのでそれを踏まえて改めてご案内させていただきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。本日は長時間にわたりありがとうございました。以上を持って第1回の施設整備部会を終了とさせていただきます。

資料1. 新中学校校舎・特別教棟への意見抜粋
資料2. 備品等調査の内容と方向性 (案)